

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	統計学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	統計学的手法を学び、数量的に表現する能力及び数量的に示された状態を把握する能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	統計とは?	様々な研究で使われる統計を紹介し、統計を学ぶ意義を説明する			講義	非常勤講師			
2	尺度水準	統計作業の3段階を紹介し、データの4つの水準について説明する			講義				
3	データの図表化	得られたデータを図や表を用いてまとめ方を説明する			演習				
4	標準化・標準偏差・数値要約	得られたデータをどのように数値をまとめて要約するのかを説明し、算出する			演習				
5	統計用語確認	記述統計に関する用語を整理する			演習				
6	統計ソフトの使い方	統計ソフト (SPSSおよびR) の基本的な使い方を説明する			演習				
7	推測統計の導入	推測統計の考え方 (帰無仮説, 対立仮説) を説明する			講義				
8	カイ二乗検定	質的変数と質的変数の関係性を検討するためのカイ二乗検定を行う			演習				
9	カイ二乗検定 (残差分析)	カイ二乗検定を拡張した残差分析を行う			演習				
10	対応なしのt検定	質的変数と量的変数の関係性を検討するためのt検定 (対応なし) を行う			演習				
11	対応ありのt検定	質的変数と量的変数の関係性を検討するためのt検定 (対応あり) を行う			演習				
12	相関係数	量的変数と量的変数の関係性を示す指標である相関係数について説明する			講義				
13	無相関検定	量的変数と量的変数の関係性を検討するための無相関検定を行う			演習				
14	推測統計確認	推測統計 (カイ二乗検定, t検定, 無相関検定) を整理する			演習				
15	定期試験 (90分)	筆記および実技による試験							
教科書・参考書等		教科書: 使用せず, プリントを配布する 参考資料: よくわかる心理統計 (ミネルヴァ書房), 統計学がわかる (技術評論社)							
評価方法		定期試験の素点で行う							
履修上の注意点		ワード, エクセルがある程度できる前提で授業を行うため, 自信のない受講者は, 一度復習しておくことが望ましい。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	法学	分野	基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	法の理念、憲法の基本原理を学び、法に守られた中での人々の生活を理解する。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員 (講師)					
1	法の理念	法とは何か 法と道徳	講義 演習	非常勤講師					
2		法の適用 裁判制度	講義 演習						
3		法源 慣習法と制定法	講義 演習						
4		法の解釈 法の分類	講義 演習						
5		国家と憲法 立憲主義と現代国家	講義 演習						
6		日本国憲法	講義 演習						
7	社会生活と法律	犯罪と刑法 犯罪の成立要件 刑法の機能	講義 演習						
8		刑事裁判 公訴提起 犯罪捜査と刑罰	講義 演習						
9		家族法 婚姻と離婚	講義 演習						
10		契約 不法行為	講義 演習						
11		医療過誤と民事責任	講義 演習						
12		労働法 男女の平等 労働契約	講義 演習						
13		看護の基本法と関係法規	講義						
14	総まとめと復習	上記内容の理解の確認と説明	講義						
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		看護のための法学, ミネルヴァ書房, 2016.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		授業内容に関する資料 (事例) を使って、私たちの生活がどのような法によって守られているか、また法を犯した場合の法的手続きや処罰について学ぶ。質問されたことに対しては、積極的に発言し授業に参加すること。							

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	生命倫理	分野	基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	生命倫理学の基礎を習得し、倫理問題に対する適切な判断と対処ができる能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	生命倫理学への誘い	Bioethics (生命倫理学) の定義 成立の歴史的背景 従来の医の倫理とBioethicsとの相違について			講義	非常勤講師			
2	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの意義と実施上の問題点			講義				
3	パーソン論	現代のパーソン論が継承している西洋思想における「人格」の概念について歴史的に振り返った後、現代のパーソン論における論点を紹介する			講義				
4									
5	倫理学の基礎理論	応用倫理学としての生命倫理を学ぶに際して、その基礎となる伝統的な倫理学のうち、代表的な功利主義と義務論の概略を知ってもらう			講義				
6	生殖補助医療	生殖補助医療の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
7									
8	出生前診断	出生前診断の国内外における現状とその倫理的問題点 着床前診断についても考察する			講義				
9	移植医療	臓器移植の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
10	生命の神聖さと生命の質	生命の神聖さ (SOL) ・生命の質 (QOL) という考え方との関連で、治療行為の中止、安楽死、尊厳死について国内外の現状もふまえながら考察する			講義				
11	安楽死・尊厳死								
12	生命倫理の基本原則	上記11回までの内容を振り返りながら、生命倫理の基本原則を整理する			講義				
13	患者の自己決定と社会的決定	患者の自己決定とその許容範囲、社会としての決定と法整備について			講義				
14	生命倫理と家族	患者の家族は、生命倫理のなかでどのように位置づけられるか			講義				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		「テーマで読み解く生命倫理」教育出版 小泉博明他著 2016. 系統看護学講座 総合医療論、医学書院, 2020. 必要に応じて、資料プリントや新聞記事なども使用する。							
評価方法		毎回の受講態度と論述式の定期試験によって評価する。							
履修上の注意点		授業方法は、基本的に講義形式であるが、可能な限り、受講生自身の考えや意見も述べてもらうなど、双方向的に授業を進めたい。また、授業内容に関する質問や要望にも随時対応するので、遠慮なく申し出てほしい。							

## 2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	医療外国語 会話	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	医療現場で患者と看護師とでよく交わされる会話を英語で学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	Welcoming a Patient	患者と迎える			講義	非常勤講師			
2	Taking Vital Signs	バイタルサイン測定			講義				
3	Pain Assessment	痛みのアセスメント			講義				
4	Feeling So Sick!	症状			講義				
5	Transferring a Patient	体位変換・移乗			講義				
6	Medical Departments	医療科目			講義				
7	Personal Care	日常生活援助			講義				
8	Giving Medication to a Patient	与薬			講義				
9	Emmiation	排泄			講義				
10	Chronic Diseases	慢性疾患			講義				
11	実技予行演習	各グループ選択項目予行発表(1)			実技				
12	実技予行演習	各グループ選択項目予行発表(2)			実技				
13	実技評価	学生による各グループ実技評価			実技				
14	作品評価	学生による各グループ実技作品評価			グループ作品評価				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		著者 : Mitsuko Hirano, Christine D. Kuramoto, Ryota Ochiai 書名 : Talking with Your Patients in English 成美堂 2019.							
評価方法		実技45% 筆記試験55%							
履修上の注意点		真摯な態度で授業に臨むこと。辞書は必ず持参すること。							